

うぐいす

大人気 住宅リフォーム補助制度…………… P2

国保財政のいま…………… P3

みなさんの声を町政に 意見交換会…………… P6

ここが聞きたい 一般質問…………… P8

2016.August
CHIKUZEN
GIKAI DAYORI

●編集発行
筑前町議会広報特別委員会
電話 0946-42-6622

第43号

2016.8

6月定例会で決まったこと 住宅リフォーム補助を追加

補正予算

1億1242万円を増額し総額133億3850万円



特産品の開発・振興事業 ※1 700万円

特産品の開発振興事業として6次産業化に取り組む。そったく基金を活用する



住宅リフォーム補助事業 1000万円

大人気につき、再度追加して予算措置

問 特産品の開発・振興事業（左記※1参照）は、なぜそったく基金から支出するのか。

答 特産品の開発・振興事業の補正予算は、個人が行う事業に補助するもので、地方創生加速化交付金に該当せず、国の補助は受けられない。そのため、そったく基金から支出する。（財政課長）

議員の提案 町は、(株)ファーマーズマーケットみなみの里から500万円の寄付を受けたが、減債基金に充当するのではなく、農業振興基金等に充当したほうが有効活用できるのではないかと、今後、検討してほしい。



ずっと使う番号だから、
マイナンバーは大切に。

電算システム運用管理事業 929万円

マイナンバー制度システム稼働にあたり中間サーバーとの連携テスト費用



臨時福祉給付金事業 4483万円

消費税引き上げによる影響を緩和するため、低所得者に支給する



サマースクール・ウィンター スクール事業 35万円

立命館アジア太平洋大学留学生との交流を通して英語に親しむ

H27 国保の赤字は約1億7300万円

税率を上げてても赤字

27年度に国保税率の引き上げを行ったが、被保険者の減少、所得の減少などによって、予定していた増収額には届かなかった。また、被保険者数は減少しているものの一人当たり医療費が増加し、保険給付費総額が増加したことにより、実質単年度収支が約1億7300万円の赤字となった。

赤字補填を目的とした法定外の繰り入れを行ったので、法定外繰入金1億円を差し引いた約7300万円の赤字が、これまでの繰上充用額に加算をされ、27年度末時点での累積赤字額が約2億4840万円となった。

〔国民健康保険事業特別会計〕

平成27年度決算見込

収入 38億7983万円
支出 41億2825万円
差引 2億4842万円
(前年度末の累計赤字を含む)

一般会計

27年度末の累積赤字
2億4840万円

法定外繰り入れ1億円

前年度迄の赤字に加算
7300万円

26年度末の累積赤字
1億7540万円

27年度実質単年度収支
1億7300万円の赤字

国民健康保険事業特別会計

今後はどうなる？

今後も累積赤字額が増加していくことが予想される。また、30年度には国保運営の広域化が実施され、その時点で国保税の大幅な引き上げが必要になることも考えられる。国保財政について早急に研究・検討をしていく必要がある。

これからどうするの？

医療費削減がカギ

町ではこれまで、国保会計の健全化の取り組みを推進してきた。

- 特定健診の推進
- 検診・医療費データを保健指導に効率的に活用
- 重症化予防
- 健康寿命の延伸
- レセプト点検の充実
- 国保資格者の適正な管理
- ジェネリック医療品の使用促進

その他医療費削減へ、積極的に取り組んで、それぞれの事業で効果も出ていますが、まだ健全会計とはいえない。

住民ひとりひとりが「自分の健康は自分でつくる」という意識の高揚が大きな力になる。

これからも町ぐるみで健康づくりに取り組んで、安心して生活できる地域をつくりましょう。



6月定例会

6月9日から16日の8日間の日程で開催された。
6月定例会は、諮問1件・報告2件・承認1件・議案10件
が提案され、審議の結果、原案のとおり可決した。

人事

人権擁護委員

上田 一正氏(四三嶋区)
任期満了に伴い、再任する
ため法務省に推薦する。
任期は29年1月から。

報告



人権イメージキャラクター
人権擁護委員のKenとKenのイラスト

平成27年度筑前町一般会計
予算の繰越明許費繰越
地方自治法の規定により
繰越明許費を調整した。
(総務費・民生費・土木費・
教育費)

株式会社ファーマーズマ
ーケットみなみの里の経営状
況

町は、(株)ファーマーズ
マーケットに出資している。
当該法人より経営状況を説
明する書類の提出があった
ため、これを承認し、地方
自治法の規定により議会に
報告する。

問 賃借対照表負債の部、流動
負債(未払金・買掛金)の内訳は。
答 決算は3月末。未払金は電
気代、シルバー・施設管理の委
託料。買掛金は資材・材料代で
現在は支払い済み。
(農林商工課長)

問 決算報告で500万円を町に寄
付しているが、内部保留として
積み立てたらどうか。

答 第3セクターとして、利益
追求組織ではない。大幅な改修
工事が必要であれば、町の責任
で行う必要がある。
(町長)



議案

条例の一部改正

筑前町家庭的保育事業等の
設備及び運営に関する基準
を定める条例

小規模保育事業及び事業
所内保育事業における職員
配置基準の弾力化。避難用
屋内階段の要件を定める。

筑前町放課後児童健全育成
の設備及び運営に関する条
例
放課後児童支援員につい
て定める。

筑前町重度障害者医療費の
支給に関する条例
子ども医療費支給制度と
重度障害者医療費支給制度
の調整を行う。

筑前町営住宅設置条例の
一部を改正する条例の制定
松延団地を解体したので、
条例の中の「松延団地」の
言葉を削除する。

工事請負契約の締結

筑前町大刀洗平和記念館
増築工事
大規模団体校などの対応
のため、多目的室・新展示室・
倉庫・通路を増築する。

多目的運動公園夜間照明
施設設置工事
野球場周辺に街路灯を設
置する。

多目的運動公園野球場整備
工事
防球ネットやバックスク
リーンなどを設置する。



問 一般土木工事に加え専門的な
知識・技術面・経験が求められる
が、入札参加者の選考は十分か。
答 指名委員会の中で業者を選
定、町内Aランクの業者が少数
のため、Bランク上位まで含めて
いる。
(財政課長)

各議員の賛否

平成28年6月定例会

区分	審議結果	議員名	深野 良二	田口 譲司	横山 善美	山本 一洋	奥村 忠義	木村 博文	石丸 時次郎	栗野 光雄	山本 久矢	川上 康男	福本 秀昭	梅田 美代子	一木 哲美	河内 直子	田中 政浩
人事	同意	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告		株式会社筑前町ファーマーズマーケットみなみの里の経営状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成27年度筑前町一般会計予算の繰越明許費繰越	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決	承認	専決処分を報告し、承認を求めること(平成28年度筑前町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	可決	筑前町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
		反対討論(河内):町内に対象施設がないとはいえ、有資格者以外の方を保育士とみなして、はたして保育の質が保たれるのか、甚だ疑問である。															
		賛成討論(田中):国の制度に従って条例化する。															
		筑前町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	可決	平成28年度筑前町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成28年度筑前町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成28年度筑前町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	可決	工事請負契約の締結 (筑前町立大刀洗平和記念館増築工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事請負契約の締結 (多目的運動公園夜間照明施設設置工事)	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事請負契約の締結 (多目的運動公園野球場整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	可決	議員派遣の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長 矢野 勉は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席

～こんなこともやっています～

議会活動

6月29日(水) 教育委員と文教厚生常任委員の意見交換会



- 地域に開かれた学校づくりの推進
 - 英語教育の充実と進路獲得授業
 - 町民ホールとふれあいホールの有効活用
- 上記の項目について意見がかわされた。

7月6日(水) 区長会と議会の意見交換会

高木会長の挨拶に始まり、フリートークでの活発な意見交換を行った。

- 6月議会の一般質問で同じ内容の質問がいくつもあった。
 - 議員の選挙時期を町長選挙に併せることはできないか。
 - 資源ゴミ、回収ステーションの数を増やせないか。
- 上記以外にもいろいろな質問や意見を区長会と交わした。
※終了後は和やかな雰囲気のもと懇親会をおこなった。



7月11日(月) 老人クラブと議会の意見交換会



- 平田会長のあいさつに始まり、自由討議を行った。
- 地震・大雨の影響で地盤が緩んでいる。防災マップの見直しの必要性は。
 - 仙道古墳のパークゴルフ場の改善はいつやるのか。
 - めくばーの外通路の雨対策を。
- その他、企業誘致・合併特例債・高齢者対策・健康対策などの意見が出て、討議を行った。

～ようこそ筑前町へ～

議員視察

自分の町をよくするためには、先進地に学ぶのが一番。ということで、筑前町のいいところを学ぶために、福岡県内外からたくさんの議員が視察されています。

年月日	視察目的	来庁者	人数
28.5.19	議会基本条例、議会活性化の取り組み	大分県津久見市議会運営委員会	9人

議員視察研修

日程 平成28年7月13日～15日(3日間)

視察地 ①大阪府寝屋川市……英語だけで過ごす「英語村」

②兵庫県淡路市……「北淡震災記念公園」野島断層保存館

③岡山県和気郡和気町……(株)岡山和気ヤクルト工場

参加者 議員15名

7月13日(水)

大阪府寝屋川市が平成26年度から事業を開始した、英語力向上プランの英語村を視察しました。

寝屋川市では、「国際コミュニケーション科」という名称の外国語活動を小学校1年生から導入し、小学生の英語活動を積極的に進められています。英語村は日頃の英語学習の成果を活かす場として開設され、原則として日本語を使わず、英語のみでコミュニケーション活動を行うことを通して、実践力や意欲を高め、英語力向上につなげてあります。

筑前町は、総合戦略で、中学3年生の卒業時までの英検3級取得者の割合を50%と定めています。今回の視察で学んだことが、目標達成のための施策につながるように、提言していきたいと思います。



7月14日(木)

淡路市の旧北淡町にある「北淡震災記念公園内野島断層保存館」を視察しました。野島断層保存館は、平成7年の兵庫県南部地震の際地表に露出した断層面の一部を保存したものである。震災の語り部として当時の様子や教訓を伝える城本さんからの説明を聞き、館内を見学しました。

兵庫県南部地震で町内約3700戸の内約3300戸が全半壊等の被害を受け、39名の犠牲者を出す中、地域コミュニティの強さ、とりわけ556名の現役消防団と約500名の消防団OBの活躍により、およそ300名を救出、行方不明者は0名であったなど貴重なお話を伺いました。また、兵庫県南部地震と東北地方太平洋沖地震の揺れの違いを体験できるコーナーや、両震災の映像や南海地震への備えを大型スクリーンでみて、防災・減災への思いを新たにしました。

7月15日(金)

ヤクルト工場が筑前町に進出してくることもあり、岡山和気ヤクルト工場へ表敬訪問と視察に行きました。

岡山和気ヤクルト工場は、乳製品乳酸菌飲料ヤクルト類のボトリングを行う新工場として、2015年2月23日から全面稼働されています。

工場では、ヤクルトの原点である予防医学として、腸を健康にして長生きする「健腸長寿」を、医学博士の代田稔さんが提唱し生まれたことなど、貴重なお話を聞かせていただき、実際にボトリングをしている現場を視察しました。



今回の研修視察は、「教育」と「防災」をテーマに行いました。大阪寝屋川市の英語力を高める実践、淡路市での震災に対しての日頃の地域コミュニティの大事さや貴重な体験談などを聞かせていただき、実りある研修でした。視察研修で学んだ事を筑前町の前進へとつなげていければと思います。

研修委員長 山本 一洋

ここが
聞きたい!

6月定例会

一般質問

町政を問う

6月議会では、10人の議員から19件の一般質問が行われ、町政全般について2日間にわたり活発な議論が展開されました。

なお、全文記録（会議録）については、筑前町ホームページに掲載しますので、ご覧ください。
※一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。

筑前町議会

検索

ページ	質 問 の 内 容	質問議員
9	1. 嘱託職員の任用期間 2. 業務の民間委託	石丸 時次郎
9	1. ICT 2. 災害対策	福本 秀昭
10	1. 子育て支援（保育所運営） 2. 学校教育	深野 良二
10	1. 本町における学校教育施策	川上 康男
11	1. 地震災害と道路行政 2. 各行政区のごみ集積場の整備促進 3. 過去の質問答弁のその後の状況	横山 善美
11	1. 人権施策 2. 町営住宅入居者の管理 3. 災害時の対応	梅田 美代子
12	1. 子どもの自立支援対策 2. 災害時の危機管理	奥村 忠義
12	1. 生涯学習施設（めくばり館・喫茶室）の現状と課題	山本 一洋
13	1. 熊本地震被災地支援と本町の災害対策 2. 安心・安全な町づくり	一木 哲美
13	1. 安心・安全の町づくり	河内 直子



石丸時次郎 議員

業務の民間委託は 多角的な検証を

石丸 町は業務の民間委託を推進の方向。コストをはじめ多角的な検証は行われているか。

総務課長 筑前町第1次改革プランの中で、住民サービスの維持・向上を前提に民間委託の推進を図り、経費削減に努めることとした。

石丸 窓口業務の民間委託は、費用対効果の面から、町のメリットは何か。

総務課長 窓口業務については、民間に委託することが可能な範囲等について、国からの通知で示されている。今後民間委託の推進は避けられない状況にある。

住民課長 予算編成まで検証を行い、窓口業務の形態の検証を行いたい。

石丸 専門的知識を有する任期付職員を雇用し、業務の見直しを図るべきと考えるが。

経営的視点に立ち 経費の削減を

任期付専門職員制度の活用を検討



民間委託が検討されている窓口業務

任期期間設定は 早急に見直せ

総務課長 任期付職員制度は、有効な任用・勤務形態の一つの手段。町の条例に基づき制度化されるものであり検討する。

石丸 嘱託職員の任期期間設定は優秀な人材を失い、予算が有効に使われていない現状があるが。

総務課長 人材確保の上で苦慮しており、課題と認識している。専門職員を一定数任用することで、解決は図られるが財政事情等もある。任期付

スマホ使用の 実態と影響は

福本 子どもたちがゲームやネットに熱中し過ぎて不規則な生活となつていいる。急増するネット依存者が社会問題となつていいる。使用実態調査は。

教育課長 スマートフォンの急速な普及により利用が増えている。所持率が小学6年生は56%、中学3年生86%である。2時間以上ゲームをする子供が約半数いいる。

福本 スマホの使用時間が長いほど、学校での授業にどういった影響があるのか。

教育課長 予習復習と家庭学習の時間が十分に取れない。就寝時刻が遅く疲労が蓄積するため、遅刻が増え、登校を渋りがちになる。授業に影響を与えている。町および各学校においても危機感を強め、スマホ等での適切な利用方法を指導する。

町の防災対策は 機能したのか

福本 熊本地震が発生した。本町の防災対策は機能したのか。

環境防災課長 14日に町内震度4の揺れを観測した。直ちに災害対策本部を設置し、第一配備態勢を取り、町長以下職員50人に対応した。県、他各機関に連絡を取り合つた。更に16日の震度5弱では職員70人に対応。避難所を開設し、防災行政無線により注意喚起したところ、避難者が11名となった。

福本 人命の救出に次いで、インフラの復旧が望まれるが。

上下水道課長 幸いにして上下水道とも被災することなく正常な状態である。下水道については、非常時対応計画を策定する。

建設課長 避難所への物資輸送など迅速な復旧に建設業者の協力を。



スマホは便利な連絡手段であるが。

急増するネット依存

危機感をもって指導



福本秀昭 議員



深野良二 議員

子育て支援の 充実に求めています

深野 保護者が、第2子を出産した場合に、第1子が退所しなければならぬケースがある。保護者が子育てしやすい環境をつくるべきでは。

こども課長 保育所入所要件があるが、家庭の事情等があれば、個別の相談をしていただきたい。
深野 保育所の正規職員採用がここ数年ないが、嘱託・臨時職員で今後の保育運営は大丈夫か。
総務課長 支障をきたさないように保育所の運営をしている。

町長 定年退職者が控えているので今年度、保育士と栄養士を採用する。

深野 嘱託の保育士が5年で替わっても、就学前から人権を大事にする保育理念が実践できるのか。

町長 正規職員が嘱託職員を指導していく体制を

子育て支援のために 保育所運営を充実させよ

民のモデルとなるような
官の運営をやっていく

確立する。

深野 保育所・幼稚園でも、特別な支援が必要ない子どもたちが増えてきている。専門的な職員を雇用したらどうか。

一人ひとりを大事にする
人権保育を

確立する。

こども課長 人材確保に苦慮している。専門士を招いての研修や指導・アドバイスは受けている。今の環境を保持し、保育士の資質向上に努める。
深野 人的配置が厳しいなら、就学前から「個別の教育支援ファイル」等を作成したらどうか。
こども課長 昨年度から「サポートファイル」を作成している。

その他の質問

・子どもたちの学力保障のために「学力向上推進委員会」を夜須校区でも実施すべき。関係機関と協議はしたのか。

・学校現場で「障がい者」差別発言が起きている。さらなる人権・同和教育の推進を。



学校教育施策は

川上 小中連携・一貫教育に取り組む狙いは。

教育長 平成27年度に学校教育法が改正され、小中一貫教育が制度化された。実施校では、学力向上、いじめ・不登校等中一ギャップの緩和、教職員の意識、指導力の向上など成果が表れている。本町においても、子どもたちの発達や学習の連続性を重視した一貫性のあ



教育委員との意見交換会

る指導が大切と捉え、具体的な取り組みを進めている。

川上 懸念される教職員の負担軽減対策は。

教育課長 校務支援システムの導入や電子黒板等ICT機器の効果的な活用による授業の効率化、課題解消に向けた環境整備を段階的に進めている。今後も先進校等を参考に、教職員の負担軽減に努めていく。

川上 この取り組みに対

する町長の考えは。

町長 積極的に活用していきたい。こういった重要案件については、教育支援の会議の中でしっかり議論を起こしたい。

川上 小中連携・一貫教育の将来像は。

教育長 義務教育9年間の視点に立ち、義務教育を修了するにふさわしい学力や、規範意識の育成を目指して、小中一貫教育の観点から、学校運営協議会とも連携を取りながら積極的に取り組みを進めていく。

川上 解決せねばならない問題が散見している。拙速を避け、じっくり構えた取り組みが必要だが。

教育長 総合計画にも定めている制度であり、教育関係者、地域住民の理解と協力を得ながら、拙速を避けることなくしっかり推進していく。

小中連携・一貫教育は じっくり構えた取り組みを

しっかり推進していく



横山善美 議員

国道386号線 歩道整備は

横山 国道386号線歩道整備促進期成会で活動しているが、町の現状報告と取り組み状況、方向性は。
建設課長 関係行政区および期成会の強い要望を受け、町からも朝倉県土整備事務所に要望進達している。29年度事業着手の要望書を提出したい。
町長 県が主管する事業だが、積極的に誠意・熱意をもってあたる。

本町を通る

啓開道路は

横山 有事の場合の速やかな救援・物資輸送などに利用される啓開道路はどこか。

建設課長 国道386号線の朝日東交差点から久光橋、県道112号線久光橋から朝倉市との境、国道200号線バイパスの区間。

横山 総合計画策定（道路施策）において、災害

国道386号線歩道整備を急げ

積極的に誠意・熱意をもってあたる

に強い町づくりの方策は。

建設課長 人と環境にやさしい道路空間づくりの推進、道路の整備・管理は、来年度に基本構想の策定を予定。

町長 386号線、500号線それぞれに整備が必要。県・国に積極的に働きかける。

福祉避難所について

横山 介護が必要な方の福祉避難所はどこか、周知しているか。

環境防災課長 福祉避難所は、コスモスプラザ敬老館・めくばーるめくばり館、災害時応援協定締結の菊池園の3か所、県の指導もあり今後周知する。

その他の質問

- ・避難所への路線要望は
- ・ごみ集積場の整備（補助金）
- ・総合支所の利用計画は
- ・荒廃農地の対策は
- ・空家問題の現状把握は



危険な通学路と思いませんか

避難所運営訓練を

梅田 福祉避難所に指定されている菊池園と行政の調整機能は。また、菊池園のみで対応可能か。

環境防災課長 菊池園とは協定書で相互確認している。50人、60人収容なので他の施設との協定も考えたい。

梅田 6月10日夜の火災時、命綱となる防災行政無線に不具合があったが。

環境防災課長 甘木朝倉消防本部システムの不具合。再発防止策を強く申し入れた。

梅田 「HUG」（避難所運営ゲーム）は発災時に大変役に立つといわれている。実施を。

環境防災課長 防災担当職員、自主防災組織のリーダーが受講して、大変役に立つとの感想であるので今後は研修会等に取り入れたい。



梅田美代子 議員



避難所となる学校体育館

LGBT（性的少数者）への配慮を

梅田 行政や学校における把握および今後の施策や研修等の実施は。誰もが違和感なく使用できる公共施設・学校等のトイレのネーミングの検討を。

人権・同和対策室長 相談は無い。調査等を行い対応を検討したい。
教育課長 学校での調査の結果、該当は無かった。トイレのネーミングは検討課題。

町営住宅は適正な 管理実態調査を

梅田 条例に「住宅明け渡し請求ができる場合」という項目がある。入居者の異動把握等の調査は。

都市計画課長 入居実態調査は行っていない。管理人と連携を密にし、町営住宅行政に取り組む。

避難所運営訓練

「HUG」の実施を

災害図上訓練と合わせ実施する



奥村忠義 議員

こども食堂を計画している

救済措置として敬意を表する

こども食堂に 後方支援を

奥村 二区・中牟田区でこども食堂の設立を計画している。

町長 行政の目線じゃなくて、身近にある方々の思いが素晴らしい。

奥村 こどもから、お年寄りまでが笑いを共有できる場所を作りたい。



食・遊・和 ほとめき支援活動

町長 里づくり事業に合致すれば展開できる。こども課で事業を仕組むこともできる。

奥村 今後の対策については、こども課・企画課に相談しながら進める。

有事の際の 取り組みは

奥村 自主防災組織を実施している行政区の割合は。また、どういった取り組みが望ましいか。

環境防災課長

町内29の自主防災組織があり、組織率は78%。防災講話や器具点検を実施しているが、地域住民が避難訓練まで取り組むことが望ましい。

奥村 本町でのAEDの普及率は。

環境防災課長

届出義務がな

いため、把握が困難だが、現況調査は必要。

奥村 緊急時に使いこなせるための研修は行っているのか。また、区長会等での取り組みは。

環境防災課長 甘木朝倉消防本部が普通救命講習を月1回行っている。自主防災組織・各種団体に受講を呼びかけている。

奥村 災害時のボランティア要員は近隣市町村や隣の県との連携が必要。

環境防災課長

両筑地区社会福祉協議会連絡会総合支援協定を締結している。

奥村 橋梁の点検は定期的にしているか。
建設課長 道路法が改正されて、五年に一回の頻度で行っている。

めくばり館の 有効活用を

山本 近年、めくばり館の利用者が減少しているのではないか。

福祉課長 平成23年度以降、年々減少傾向にある。
山本 今後この施設をどのように活かそうとしているのか。

福祉課長 総合戦略（ハッピープラン）にある子育て支援施設として活用を



山本一洋 議員



有効活用が求められる めくばー喫茶室

喫茶室の 現状と課題は

山本 喫茶室が閉鎖されている。今後どのように活用していくのか。

生涯学習課長 町民の方が多目的に利用して、交流できる場所等有効活用できないか具体的に検討したい。

山本 食による生きがいづくり、町内の新鮮野菜などを活用した、弁当や定食の提供をしてはどうか。また、趣味のグループによるギャラリーや個展、ミニコンサートなどを行い、地域の人の居場所・出会いの広場にしてはどうか。

こども課長 十月末頃までに、職員や関係機関の意見を取りまとめる。

山本 子育て支援による世代間の交流にはメリット・デメリットもある。関係機関と十分に協議し、広く住民の声を反映させてほしい。

めくばーるの施設を 地域とつながる人の駅に

方向性を示したい



一木哲美 議員

熊本被災地支援を

一木 被災地を訪ねた。避難生活者が未だに多い。本町でも受入れを組むべきだ。福岡県内42市町の自治体と公社など3、計45が被災者に対する住宅支援を行っている。

総務課長 避難生活者の受入れは、今行なっていない。希望者がいらつしやれば相談に応じたい。

一木 本町にも活断層が存在するし、地震対策への取組が必要。

環境防災課長 地域防災災害予防計画で、活断層の位置、評価、被害の想定を見積もっている。

一木 被災時の車中泊避難防災計画が必要だ。

環境防災課長 町の防災会議に諮り、地域防災計画に盛り込んで行く。

一木 仮設住宅建設予定地を定める必要がある。

環境防災課長 有効敷地面積千㎡以上の公有地

車中泊避難防災計画が必要

防災会議に諮り見直す



夜は車中泊の車で満車（益城町総合体育館）

19ヶ所を候補地として定めている。総面積18万5千581㎡、設置可能戸数千539戸と想定。

歩道帯は両サイドに

一木 国道386号沿線、篠隈地区中心市街地の危険な歩道帯改良の進捗は。

建設課長 整備区間は、やすらぎ荘入口交差点からコスモスプラザ入口迄、南側の歩道未整備区間に3.5mの自歩道の計画

案が出され、関係者約半数の方の同意を得た。朝倉県土整備事務所としては、事業が進めやすい南側への計画案が出されたという状況。

一木 北側、佐藤石油店前から国松産業前迄、歩道という歩道がなく危険。北側も併せて進めて行くことが必要。町からも強く朝倉県土整備事務所に、両方進めて頂く事を要望。

防災計画の見直しを

河内 熊本地震のこれまでにない特徴も踏まえ、地域防災計画の見直しが必要と考えるが。

環境防災課長 国・県の見直し方針等をもとに筑前町の土地柄に合った見直しを行いたい。

有利な交付金の活用を

河内 地方創生推進交付金を活用するために地域再生計画を策定し活用する考えは。



河内直子 議員



筑前町地域防災計画

総務課長 適合するような事業があれば、ぜひ計画を出していきたい。

子ども達を

貧困から救え

河内 18歳未満の子どもがいる家庭で平均所得の1/2以下の家庭の割合は。

税務課長 対象が2千729件で、1/2以下は458件であり16.7%。

河内 給食費未納分徴収に向けての努力は。

教育課長 解消に努めた

大災害に備え

防災計画見直しを

国・県の方針をもとに見直す

河内 食育の町として、給食費無料化の考えは。

教育課長 年間約1億770万円の新たな財源が必要。現時点ではできない。

町長 今の法律がある以上、国の支援等がない以上、負担をお願いしたい。

河内 子どもの貧困対策に関する大綱では計画を策定するよう定めているが、策定しているのか。

こども課長 貧困対策という枠での計画策定は考えていない。

河内 就学援助制度は制度の完全実施という観点から条例化が必要では。

教育課長 全国でいくつかの自治体が条例を制定しているが、今ある規則で充分補えると考ええる。

その他の質問
・麦刈り後の野焼きに対する指導

傍聴 をしての感想

初めての傍聴でした。事前に要旨が知れていたら、参加意欲が高まると思う。

質問者の問いに対し、回答する側の内容が本質以外の前段の説明が長過ぎ、本質の回答が十分に伝わらない(質問時間、質問事案の順番に問題がある)。

(T・Kさん)

(K・Nさん)



一般質問の内容(一般質問通告書)は、ホームページ・支所窓口・議会事務局で配布しています。ぜひご覧ください。

6月定例会の傍聴者数は36人でした。傍聴はどなたでもできます。多くの傍聴をお待ちしています。

傍聴へ
どうぞ!

平成28年

9月定例会(予定)

●開会

9月 2日(金) 10:00~

●一般質問

9月 7日(水) 10:00~
~ 9日(金) //

●決算審査特別委員会

9月13日(火) 10:00~
~15日(木) //

●閉会

9月16日(金) 14:00~

※会期予定は8月19日の議会運営委員会で確定のため、変更する場合があります。

vol.13 街角 TOPICS

三輪小学校

自然の恵みをいただきます

毎年、三輪小学校5年生を対象に、稲一生(塩水選から餅つきまで)、食について考えていただき、合鴨による無農薬栽培を行い、食しています。

鶏肉や牛肉等は、スーパーで買い食べるものと思っています。自分達で世話した合鴨を食べる事に抵抗を感じた保護者か

ら教育委員会に提議されました。その後は児童たちが話し合いを持ちながら、3年後に全員で合鴨を食べる結論になったのです。

合鴨と米の命をいただき、仲良くみんなのため世界平和のため、頑張ってください。期待致しています。(岡部 良美)



編集後記

世界のスポーツの祭典、オリンピック・パラリンピックが、8月に開幕します。日本選手の活躍を心から期待しています。

オリンピック・パラリンピックでは、ボランティアをはじめ、多くの人たちの陰の支えにより、競技が成立し選手も活躍できます。

私も多くの人たちに支えられ、議員活動ができています。その事を、いつも胸に刻みながら、これからも、筑前町のために頑張っていきます。

(深野 良二)



発行責任者

議長 矢野 勉

議会広報特別委員会

委員長 木村 博文
副委員長 深野 良二
委員 田口 譲司
委員 横山 善美
委員 奥村 忠義
委員 山本 久矢